

国語科

第2学年

三次市立君田小学校

単
元
名

「つたわりやすいせつ明のし方を考え、
1・2年生で楽しく遊べる『あそびブック』を作ろう」

教材「おにごっこ」

本単元で育成する資質・能力

思考力 判断力

令和3年1月21日 第2学年 男子5名 女子2名 計7名

研究主題

自己効力感を高め、確かな「思考力」「判断力」「表現力」をもった児童生徒の育成
～めあてと振り返りをつなぐ授業づくりを通して～

1 単元観

【学習指導要領との関連】

本単元は、第1学年及び第2学年の内容「C読むこと」の「ウ文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」と「カ文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。」を受けて設定したものである。

【本教材の特性】

本教材は、多くの児童が共通の体験をし、興味・関心の高い題材であり、児童の既有知識を直結して考えを深めていきやすい内容である。教材文は、「初め・中・終わり」という説明的文章の典型である。また、1つの段落に「どんな遊び方があるのか。」「なぜそのような遊び方をするのか。」という二つの問いを提示され、それに応答する形で論理を展開する。そのため、児童に説明文の構成を捉えさせやすい教材である。

本教材で身に付けた「文章の中の重要な語や文を選び出す力」を、言語活動「あそびブック」の作成に生かすことができる。

2 児童観

【既習単元での実態】

略

【学力調査結果】

略

3 指導観

(1) 本単元のねらいを達成するための手立て

- ・単元を貫く言語活動を設定し、目的意識や見通しをもって学習に取り組めるようにする。
- ・「おにごっこ」を既有知識や経験と照らし合わせて考えることで、想像を広げながら文章の理解を深められるようにする。
- ・文章を読み取らせる際は、「問い」確認したうえで、「答え」を一つずつ色を変えてサイドラインを引いて確認する等スモールステップで読み取るようにすることで、文章構成をとらえさせやすくする。
- ・情報を整理する際には、表を活用することで、視覚的に事例を比べることができるようにする。
- ・効果的に協同学習を取り入れ、自分にはない考えを吸収し考えを広げられるようにする。
- ・「書くこと」の学習過程では、本教材の学習を生かして、「どんな遊び方があるか。」「なぜそのような遊び方があるか。」といった構成の文章を書くために必要な材料を集める活動を仕組むことで、「文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力」を高める。

(2) 資質・能力を育成するための手立て

資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿（◇）と 育成するための支援・工夫（・）
思考力・判断力	◇相手に伝わりやすい文章になるように考え、必要な情報を収集している。 ・段落ごとに表にまとめさせ、情報の収集に見通しをもたせる。 ・ワークシートを活用し、「初め」「中」「終わり」の文章構成を視覚的に捉えさせ、重要な語や文を見つけ出しやすくさせる。 ・文章を読んで感じたことや分かったことを考えさせ、情報共有させる。

(3) 学習に用いる言葉・表現・語彙

学習に用いる言葉

形式段落・問い・答え・表・はじめ・中・おわり・主語・述語

また・ほかに・ところが・このように

着目させたい表現・語彙

説明の仕方 あそび方の一つに、
 ところが、このあそび方は、
 ～をきめるものがあります。 ～するあそび方もあります。

4 単元目標

- 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。 【知（3）エ】
- 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。 【思C（1）カ】
- 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 【思C（1）ウ】

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
① 読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	① 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ② 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	① 文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習の見通しをもって、本を読んでわかったことや書いた文章を説明しようとしている。

6 単元計画

(1) 単元構想図

「つたわりやすいせつ明のし方を考え、
1・2年生で楽しく遊べる『あそびブック』を作ろう」
教材「おにごっこ」

課題発見 (1)

- ・知っているおにごっこや遊びについて話し合う。
- ・紹介文について知り、学習の見通しをもつ。

どんなせつ明がつたわりやすいかな？

課題の設定

つたわりやすい せつ明のし方を考え、1・2年生で楽しくあそべる「あそびブック」を作ろう。

情報の収集 整理・分析 (6)

- ・「はじめ」「中」「おわり」の文章構成を読み取る。
- ・「はじめ」から、「問い」を読み取る。
- ・「中」から、「問い」に対する「答え」を読み取る。
- ・「おわり」の必要性を考え、筆者の主張を読み取る。

並行読書

遊びについて書かれた本を読む。

まとめ・創造・表現・(2)

- ・自分が紹介したい遊びを決め、書くための材料を集める。
- ・学習した伝わりやすい説明の仕方を生かして説明する文章を書く。

振り返り (1)

- ・書いた文章を友達と読み合い、感じたことや分かったことを伝え合う。

実行 (1)

【体育】

1年生に遊びを紹介し、交流をする。

(2) 単元計画 (10時間)

次	時	学習活動 資質・能力の重点	評価の観点			◇評価規準 (評価方法)
			知	思	態	★資質・能力の評価 (評価方法)
第1次	1	・知っている鬼ごっこや遊びについて話し合う。 ・紹介文について知り, 学習の見通しをもつ。			○	◇次時以降の学習の意欲をもち, 活動の見通しをもっている。(態①) (発言・ノート)
	2	・全文を読み, 「はじめ」「中」「おわり」の文章構成を読み取る。 思考力		○		◇文章を「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに分けている。(思①) (発言・ノート)
第2次	3	・①段落を読み, 「問い」を読み取る。		○		◇文章の中から, 「問い」を見つけている。(思①) (発言・ノート)
	4	・②段落を読み, 「問い」の「答え」を読みとる。		○		◇具体例から「問い」に対する「答え」を見つけている。(思①) (発言・ワークシート) ◇文章を読んで感じたことや分かったことを考えている。(思②) (ノート)
	5	・③段落を読み, 「問い」の「答え」を読みとる。 思考力		○		◇具体例から「問い」に対する「答え」を見つけている。(思①) (発言・ワークシート) ◇文章を読んで感じたことや分かったことを考えている。(思②) (ノート)
	6 【本時】	・④⑤段落を読み, 「問い」の「答え」を読みとる。 思考力		○		◇具体例から「問い」に対する「答え」を見つけている。(思①) (発言・ワークシート) ◇文章を読んで感じたことや分かったことを考えている。(思②) (ノート) ★伝わりやすい文章になるように必要な情報を収集している。(発言・ノート)
	7	・⑥段落を読み, 必要性を考えることで, 筆者の主張を読み取る。 思考力		○		◇筆者が伝えたいことを読み取って(思①) (発言・ノート) ◇文章を読んで感じたことや分かったことを考えている。(思②) (ノート)
第3次	8	・自分が紹介したい遊びを決め, 書くための材料を集め, メモをする。	○			◇紹介する文章を書くために必要なことを理解している。(知①) (発言・ノート)
	9	・学習した伝わりやすい説明の仕方を生かして説明する文章を書く。 思考力・判断力		○		◇条件に合わせて紹介する文章を書いている。(思①) (発言・ノート)

	10	・書いた文章を友達と読み合い、感じたことや分かったことを伝え合う。		○		◇友達の紹介する文章の良い所や分かりやすい所を見つけている。(思②)(発言・ノート)
--	----	-----------------------------------	--	---	--	--

7 本時のねらいとポイント

(1) 本時の目標

- ・④⑤段落を読み、叙述に即して「問い」の「答え」を読みとることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・叙述に即して、「問い」に対する「答え」を読み取っている。
- ・文章を読んで感じたことや分かったことを考え、情報共有している。

(3) 準備物

- ・本文(掲示用)、本時までにまとめた表

(4) 学習の展開(本時 6 / 10)

分	学習活動	○主な発問や指示 ・予想される児童の反応	☆指導上の留意点 ◆個別の支援対象児童への手立て ◇評価規準(方法)★資質・能力
5	1 前時までの学習を振り返る。 2 本時のめあてを確認する。	○前回の授業では2つ目のあそび方について考えましたね。表に大事な言葉をまとめましたね。 ○今日は三つ目のあそび方について考えましょう。	☆単元のめあてを確認することで、見通しをもたせる。 ☆学習の足跡を用意することで視覚的に振り返らせる。 ☆児童にめあてを考えさせることで、主体的に学習に取り組む態度を養う。
		三つ目のあそび方ってどんなあそび方かな。	
35	3 ④段落を音読する。 4 サイドラインを引く。 5 ④段落から内容を読み取る。	○④段落を音読しましょう。答えだと思うところはどこか考えながら読みましょう。 ○もう一度先生が読むので、答えだと思うところに線を引いてみましょう。 ○答えを友達と確かめましょう。(ペア→全体) ・「おにが交たいせずに、つかまった人が、みんなおにになっておいかけろ。」 ・おにごっこが、もっとおもしろくなります。 ・おにには、にげる人をつかまえやすくなります。 ・にげる人は、おにがひとりのときよ	☆音読させる際に、「どんなあそびか」「なぜそのような遊びをするのか」を考えさせながら読ませることで、個人思考の見通しをもたせる。 ◆問いの文を再度確認することで、問いの答えに着目させて考えさせる。 ◇3つ目の「あそび方」と「なぜそのようなあそび方をするのか」を読み取っている。(教科書・ワークシート) ☆ペアの児童と確認させることで、自分の考えに自信をもたせる。 ☆「おにごっこが、もっとおもしろくなります。」という意見の児童には、その理由を考えさせることで、おにもにげる人もたのしめる

	6 これまでの段落と④段落のかき方の違いを表から考える。 7 ⑤段落から内容を読み取る。 8 三つ目の答えをまとめる	り、にげるところをくふうしたり、じょうずに走ったりしなければなりません。 ○この段落には、今までの段落と違うことがあります。何でしょうか。 ・「困ること」が書いてありません。 ○実は森下さんは、どこかに書いています。 ・⑤段落に「このあそび方は、」とかいているから、⑤に書いてあると思います。 ○⑤段落を読みましょう。二度目は先生が読みますからサイドラインを引きましょう。 ・「おにになった人は、みんな手をつないでおいかける。」ときめる。 ・おにごっこがすぐにおわらずに、長くあそびつづけることができます。 ○みんなで確かめましょう。 ○三つ目の答えは、④⑤段落にありましたね。読み取ったことを短くまとめましょう。 ・つかまった人が、みんなおにになっておいかけるのは、どきどきすることもふえておもしろいけど、すぐに終わるから、おにが手をつなぐと、長くあそべる。	ことを読み取らせる。 ☆表にまとめさせ、視覚的に分かりやすく整理させ、この段落に「困ること」がないことに気付かせる。 ☆ペア活動を取り入れ、共同して「困ること」を探させる。 ☆「ところが」という接続詞でつながっていることをおさえることで、段落のつながりを意識させる。 ★「問い」の「答え」となる必要な情報を読み取り、まとめている。 (教科書・ワークシート(表)) ☆自分で考えた後、友達と確認する時間をとることで、考えに自信をもたせる。 ☆学習したことをまとめさせやすくするために、まとめた表を提示し1文で書かせる。
5	9 学習の振り返りを行う。 視点 ①自分の経験と比べて考えたこと ②説明の仕方でまねしたいところ	○今日の学習で分かったこと遊びのことで、自分が今までしていた遊びと比べて考えたこと、書き方のことでまねしたいことを書きましょう。 ・わたしも、同じ遊びをしたことがあるけれど、たしかにおにがつかまりにくくていいなと思った。 ・「ところが」と言ってくわしくしていたからまねしたいと思いました。	☆振り返りの視点を2つ示し、掲示することで、思考の補助とする。 ☆振り返りを発表させることで多様な考えがあることを感じさせる。 ★文章を読んで感じたことや分かったことを考えている。(発言・ノート)

⑤「ところが」でつけたしくくしていた。
手をつなぐとたしかにおにが
ままりにくくていい

⑤	ところが	④	③	②	だんらく	あそび方
おにになった 人はみんな 手をつなぐ でおいける		おにが交代せ ずにつかま った人がみ んなおにな っておいけ る	にげるだけ が入れるとこ ろを作った り、つかま らないところを きめたりす る	にげとはいけ ないところを きめる	こまること	なぜす

⑥三つ目のあそび方ってどんなあそび方かな
おにごっこ
一月二十一日
森下 はるみ

にげる人がどこへでも行くことができて、おにがはい、かまさんはい、みんなの同じに人をずっとおにをするのになにかもしれない。	おにがなくなった人のあしはがやければ、ずるには、すてしう。	おにには、おにが、あやうすにける人
にげる人が、なんにも、かえり、おに、おもしろくないから。	にげる人が、なんにも、かえり、おもしろくないから。	おにには、おにが、あやうすにける人